

スーパー耐久の最終戦は岡山国際サーキットで開催されました。クラス1位ながら4.5ポイントでライバルの2号車が優勝だと逆転となります。また、今回は以前から計画してた2台体制で参加となりました。88号車はBドライバーに岡山のN1ロードスターやビータで活躍の山谷選手。Cドライバーにはチーム発足からの脇谷選手で戦います。もう1台はパーティーレースで活躍中の杉野選手。昨年の岡山国際のN1ロードスターレースのシリーズチャンピオンの中村選手。そしてロードスターのN1とビータで活躍してる近藤選手とロードスターに関わるドライバーを乗せて恩返しです。



11月2日金曜日 公式練習

金曜日の占有枠は朝一の1枠目は村上がまずはマシンチェックを兼ねて走行。クラストップタイムでいい感じ。そしてお昼、午後と暖かくなってくるとバランスが悪くて真ん中に沈むと言う感じでセットアップに迷いがです。ライバルの2号車は安定して速いです・・・。

11月3日土曜日 公式予選日

午後からの公式予選は快晴。88号車、32号車と2台で並んでコースイン。32号車がアタック開始したのを88号車が後ろから追い掛けます。Aドライバーの村上がクラス3位、Bドライバーの山谷がクラス5位で合算タイムでクラス3位からスタート。32号車は中村がクラス4位、杉野がクラス9位で合算タイムでクラス8位からスタートします。ライバルの2号車はクラス2位からのスタートになりますので何とか逆転出来る様には夜は作戦会議です。 **予選 ST5クラス 88号車クラス3位 32号車クラス8位**

11月4日日曜日 決勝

決勝は朝のAM8時半からスタートです。今回はまとも戦うと勝てないと判断してスポット参戦も多くレースが荒れることを祈ってスタートは山谷。そして交代したら村上がロングで走る作戦です。ローリングスタートからグリーンシグナルで3時間耐久レーススタートです。が、ここで山谷選手がシフトミスで順位を大きく落とします。前後に直線の速いフィット勢に囲まれてロードスターの良さを生かせず、ずるずると後退していきます。予定より早く村上に交代してロングで順位を1つ、1つ上げていきラスト45分でもう1回山谷に交代して暫定2位に浮上。そこから冷静に走っていきライバルの2号車は45秒先。最後までプッシュしますがそのまま2位でチェッカーとなり残念ながら0.5ポイント差で逆転されてしまい、シリーズはクラス2位となりました。32号車はまずは完走しようということでドライバー3名がしっかり安定

した走りをしてクラス8位でチェッカーとなりました。 **決勝 ST5クラス 88号車 クラス2位 32号車 クラス8位**

総括 チームオーナー兼ドライバー 村上

88号車は残念ながら2年連続のシリーズチャンピオンとならず本当に残念です。シーズン通してドライバーを固定せずにロードスターのレースに関係のあるドライバーを乗せると言うことで挑戦しましたがそれでも悔しいです。まだまだチームの運営、ドライバーとしても足りない部分がたくさんあり反省するばかりです。32号車は今回、レースを50歳になってから始めてた2名のドライバーの夢を叶える事が出来て本当に良かったです。本当に皆様には協力、サポートして頂き感謝です、本当にありがとうございました。

来季はどういう体制になるかはまだ未定ですが皆様の協力がなくして勝利はあり得ません。ぜひ協力をお願いしたいのと新しいスポンサー様を紹介して欲しいです。

一緒に戦ってくれるパートナー様待ってます。

